

27日、フィラト首相のブラッセル訪問

A. 主な動き

1. 内政

憲法第78条改正のための国民投票

- ・27日、バルツィ市議会は、同市住民に9月5日に行われる憲法第78条改正のための国民投票のボイコットを呼びかける声明を採択
- ・28日、レナタ欧州市民社会アカデミー所長は、有権者に同国民投票のボイコットを呼びかける一部の政党及び地方議会の行為は、有権者の選挙権の侵害にあたりと警告。
- ・28日、フィラト首相は、A EIは同国民投票のための本部を共同で設置する予定はなく、所属各党はそれぞれ独自に投票運動を行うことになると発表。
- ・30日、中央選挙委員会は、同国民投票の投票運動への参加する5党を新たに登録。登録済みの政党は計19党に。

大統領選挙及び期限前議会選挙

- ・27日、パサト・ヒューマニスト党党首(元国防相、元情報安全保障庁長官)は、大統領直接選挙が行われることになった場合、同選挙に出馬する意向を表明。
- ・28日、プルベレ憲法裁判所裁判長は、ヴォローニン前大統領の次回大統領選挙への出馬の可否に関わる憲法第80条の解釈を8月5日に発表すると発言。
- ・30日、社会民主党は、A EI各党が10月1日に議会を解散することで合意したとの情報を入手したと発表。

内閣・政党の動き

- ・29日、フィラト首相は、前回期限前議会選挙(2009年7月29日)以降の一年の政府の活動による成果を肯定的に評価。一方、ルプ民主党党首は、安定した政権を樹立できなかったことにつき不満を表明。
- ・30日、内閣は、洪水被害への対応及び今後の政治日程の準備のため今夏は休暇を返上して業務を行うことを決定。フィラト首相は、「休暇が必要な閣僚はすぐにでも罷免する用意がある」と発言。

世論調査

[CBS-AXA社会市場調査センター(露シンクタンク「プリズナニエ」基金発注)]

- ・国民投票による憲法78条改正に対する賛否
賛成:78.9%、反対:5.9%、どちらとも言えない:8%
- ・議会選挙が次の日曜日に行われた際の支持率
共産党:32.6%、自由民主党:15.2%、民主党:13.4%、自由党:9.1%、「我々のモルドバ」同盟:2.5%
- ・大統領直接選挙が次の日曜日に行われた際の支持率

ヴォローニン前大統領:27%、ルプ民主党党首:22%、フィラト首相:16.8%、

政治家信任率

- ルプ民主党党首:49.4%、ヴォローニン前大統領:47%、フィラト首相:47%、キルトアケ・キシネウ市長:34.8%、ギンプ大統領代行:23.1%
- ・調査は6月28日から7月9日にかけて約2,000名を対象に実施。

2. 沿ドニエストル

27～29日、カラーシン露外務次官のモルドバ訪問

- ・カラーシン露外務次官は、沿ドニエストル問題解決プロセスに関し、先行きの見えない現状がこれ以上続くべきではないと発言。
- ・カラーシン露外務次官は、継続性、「5+2」協議参加国の質及び沿ドニエストルに対する法的ステータスが露の沿ドニエストル問題解決に向けた3原則と発言。
- ・カラーシン露外務次官は、オシポフ沿ドニエストル問題担当副首相と会談、「5+2」者協議再開に向け露が支援を継続する旨発言。オシポフ副首相は、諸外国がより活発にモルドバの主権及び領土一体性を支持する立場を取っており、我々は「5+2」者協議再開にかかる交渉プロセスを継続すべきと返答。

その他

- ・28日、スミルノフ沿ドニエストル「大統領」は、カラーシン露外務次官と2国間関係及び沿ドニエストル問題解決にかかる交渉プロセスの現状につき協議。カラーシン次官は、ウクライナの役割につき、沿ドニエストルの発展及び沿ドニエストル問題解決に向けウクライナが露と協力の上で果たしうる役割については楽観的に考えていると発言。
- ・29日、カラーシン露外務次官は、ヌルガリエフOSCE議長国特別代表と会談し、ジュネーブ会合の結果及び沿ドニエストル問題解決にかかる交渉プロセスの進捗状況につき協議。
- ・29日、カラーシン露外務次官は、露が対沿ドニエストル財政援助を1ヶ月以内に再開する方針と発表。
- ・30日、ヤストレブチャク沿ドニエストル「外相」は、「5+2」者協議が現在も力を失っていないが、再開に先立っては、露、沿ドニエストル及びモルドバ3カ国首脳が声明を発出し、然るべき条件を整備する必要があると発言。
- ・30日、ハンドーギー・ウクライナ臨時代理外相は、ヌルガリ

エフO S C E議長国特別代表と会談し、沿ドニエストル問題解決にかかる現状と見通しにつき会談。会談では、「5 + 2」者公式協議再開に向けた措置及び紛争当事国の信頼醸成措置が議題の中心。

3 . 経済

マクロ統計

・24日、国家統計局は、2010年上半期(1月～6月)の鉱工業生産高が対前年同期比6.6%増の122億レイと発表。生産高が対前年時比で最も増加したのはタバコで58.8%増、アルコール飲料は35%増、ワインは23%増。

対外支援

・28日、フィラト首相とシャンノン駐モルドバ英国大使は、モルドバの地域開発のため英国が150万ポンドの支援を行うメモランダムに署名。

モルドバ産ワイン品質問題

- ・27日、フィーレ拡大・欧州近隣政策担当委員は、フィラト首相に対し、モルドバ産ワインの対EU輸出枠拡大に向け支援する用意があると発言。
- ・28日、フィラト首相は、モルドバ産ワインの対EU輸出枠が2012年には2倍に拡大すると発表。
- ・29日、コサルチウク農業食品産業相は、露消費者権利保護庁の要求に基づくモルドバ産ワイン製品に対する改善措置のリストを、在露モルドバ大使館を通じて露側へ手交したと発表。
- ・30日、コサルチウク農業食品産業相は、政府が輸出用ワインの品質管理を厳格化する措置を取る決定を下したと発表。モルドバのワイン製造業者が露市場の要求を遵守しなければ

B . その他の動き

7 / 26 (月)

・モルドバ軍パイロットと医療スタッフからなる代表団が、米ノ

ばならないとコメント。

4 . 外政

27日、フィラト首相のブラッセル訪問

- ・フィラト首相は、フィーレ拡大・欧州近隣政策担当委員と会談、第3回モルドバ・EU連合協定交渉の成功に謝意を述べ、査証自由化にかかるロードマップを秋に策定すべく欧州委員会の支援に期待していると発言。
- ・フィーレ委員は、EUがモルドバの欧州統合努力を支援していくと表明、また査証自由化に関し、9月にEU視察ミッションがモルドバを訪問、その後ロードマップが付与されると発言。
- ・フィラト首相と会談したレテルメ・ベルギー首相は、査証自由化及びFTAにかかるモルドバとの交渉は建設的であったとし、欧州連合理事会議長国となるベルギーはモルドバを支援する用意があることを表明。

EU関連

- ・26日、レアンカ副首相兼外務欧州統合相は、6月15日のEU・モルドバ協力理事会における勧告に基づきモルドバは欧州統合に向けた行動計画を策定したと発表。
- ・27日、レアンカ副首相兼外務欧州統合相は、9月に対EU査証自由化交渉が再開する見込みと発言。

5 . 防衛

クラスター弾の処分

- ・29日、モルドバは、軍弾薬庫に保管されていた最後のクラスター弾を処分。処分された弾薬は、1961年から1987年にかけて製造された800発を超える砲弾と78発のクラスター弾。

ースカロライナ州における航空事故時における負傷者救護訓練に参加。

本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と標記しています。
(了)